

壁装の技能教育アンケート結果 製造業・販売業・施工業 3業態の回答

製造業者は全業者が意匠性壁紙の施工教育希望、施工業者は織物施工を重要視

壁装施工の技能教育に関するアンケートは、「技能教育振興の必要性」と「その技能教育の内容はどんな教科が必要と思われるか」の2つにつき、壁装製造業者、壁装問屋・卸売り店、壁装施工店の3業態に質問した。



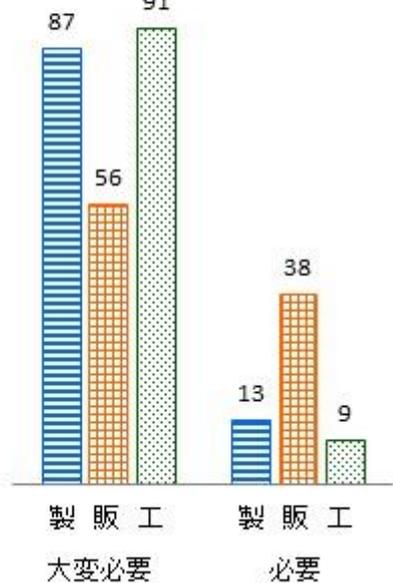
その詳細のグラフを掲載し、業界が「教育」を実施、または、事業化する場合の参考に供することとした。まず、技能振興の要否では、別掲グラフの通り、製造と施工が「大変必要」とする声が高い。

必要な教科については「壁紙全般の施工」と「下地調整」の必要度だけは、概ね3業態ともほぼ似通って高い。

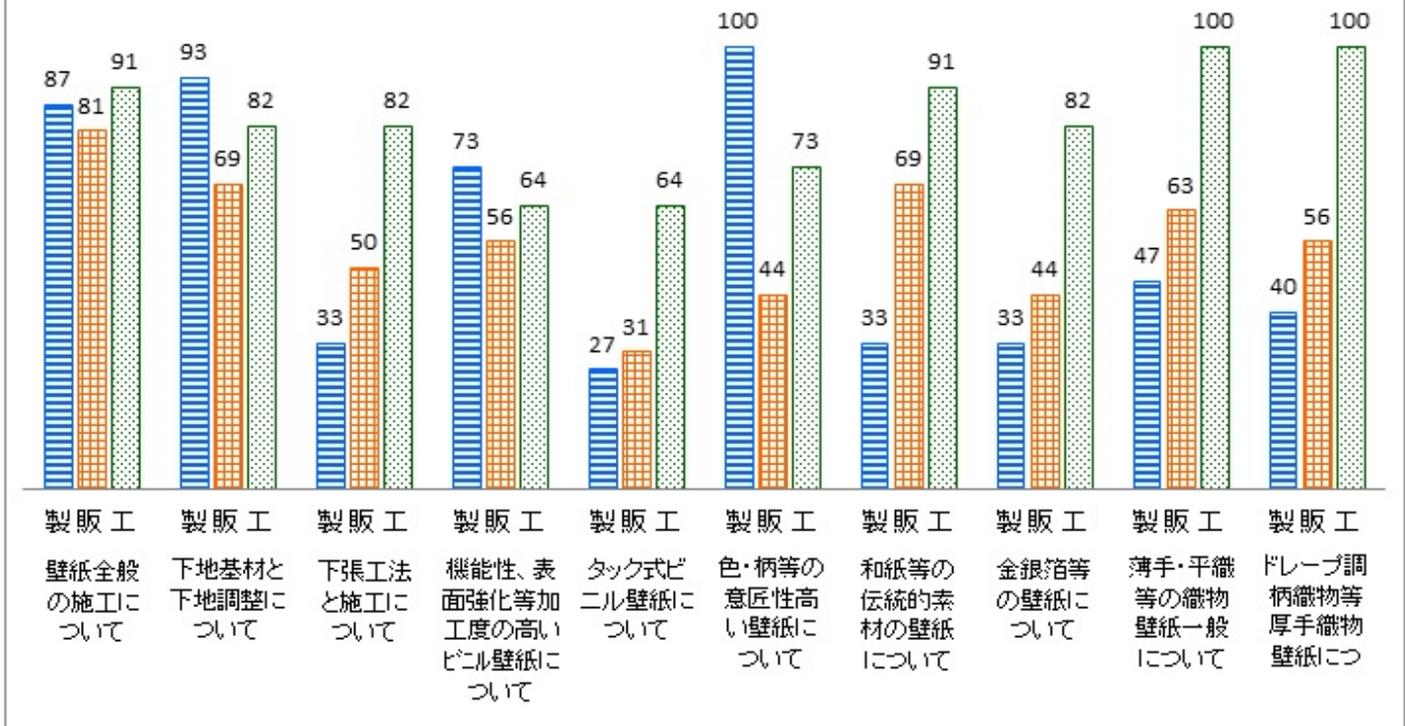
しかし、「下張り」や「タック式」は施工だけが高く他はそれ程でもない。「色・柄」では、製造が100%と飛びぬけて高い、商品開発で常に頭を痛めている様子が伺える。

「和紙」「金銀箔」「織物」を見ると、施工がいずれも高く、織物では100%を示している。この施工技術の継承で各社とも危機感をもっていることが伺える。各業態の回答を吟味すると切実な業界問題が浮かびあがってくる。

技能教育振興の要否
製造・販売・施工
業態別の回答結果(%)



壁装の技能教育で必要と思われる教育内容ノアンケート結果
製造・販売・施工の各業態のそれぞれの意見(%)



壁装新聞(第419号)より引用